MI70 Link の操作のしかた

MI70 リンクとは？

MI70 リンクはパーソナルコンピーユーター(PC)を通じて MI70 指示計での計測データを操作することができるプログラムの事です。MI70 リンクを用い MI70 の計測データを PC に移管出来、ウインドウズ環境下でデータを容易に取り扱う事を可能にいたします。

主なる機能は以下の通りです。

記録のダウンロードとデータウインドウの操作
リアルタイムウインドウ(現在進行中データ取込)を開く
プリントする
コピーする
チャート（グラフ）の拡大
ファイルを開く
ファイルを保存する
ファイルを指示計のメモリーから削除する

記録のダウンロード

1．ダウンロードファイルをクリック、又はメニューバー**Instrument** メニューの **Download File** を選択
2. 必要なファイルをピックアップ。最新の記録は常に一番上に位置している
3. もし必要ならタイトル名を変更してノート **Note** エリアを埋める事が出来る。（日付と時間は初期値のまま）
4. データ表現フォーマットを選択：インォー-メーション **Information**、チャート **Chart**、データ表 **Data table** の中から選択。
5. **Information sheet** はデータ記録情報とその要約を表す。詳しい情報は **Printing** を参照
6．**Chart Page** は時間経過に沿ったデータカーブ。更に詳しい操作は **Copying** , **Zooming** , **Printing** 又は **Scaling chart** を参照
7．**Data table sheet** は、各々のデータポイントを表形式で表している。更に詳しい情報は **Copying** 又は **Printing** を参照

インフォーメーション Information シート

インフォメーションシートウィンドウはリアルタイム計測又は MI70 からデータをダウンロードした時に自動的に開く。このインフォメーションシートには計測開始・停止時間、計測最小・最大データ、平均値のような基本情報が記載されている。

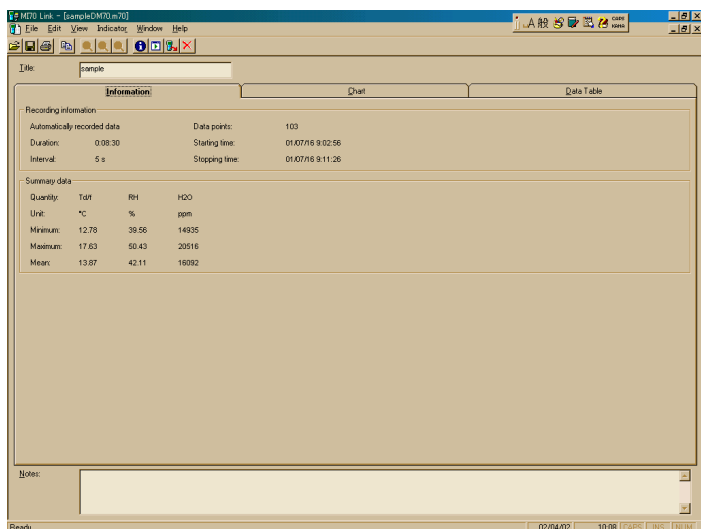
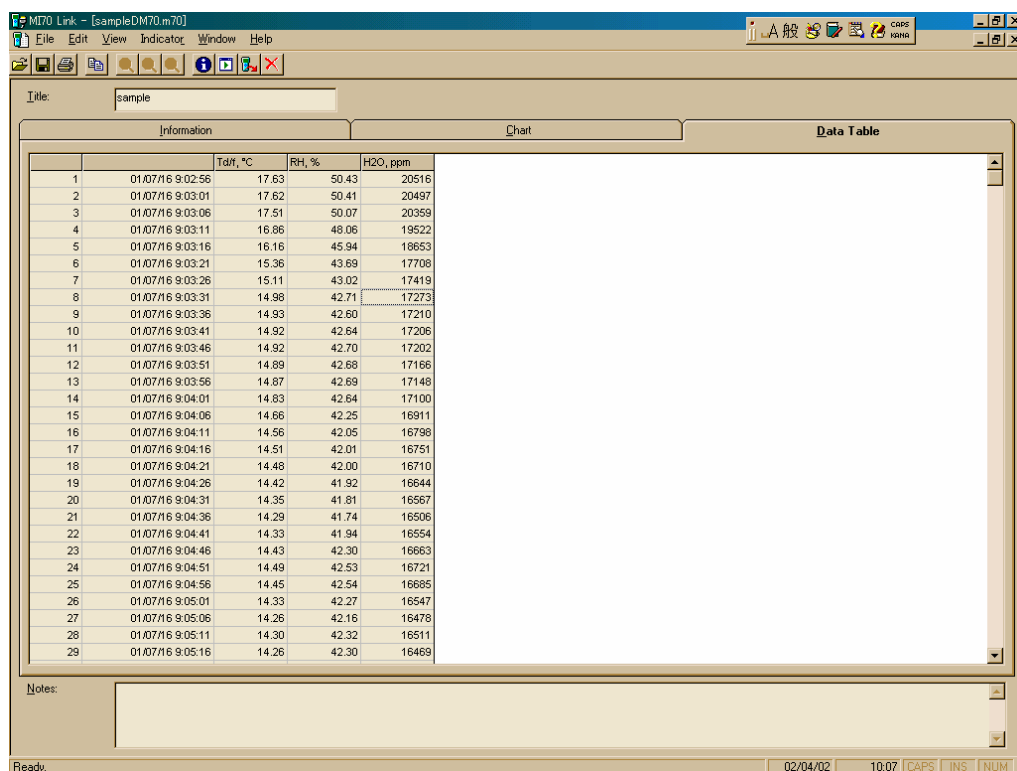



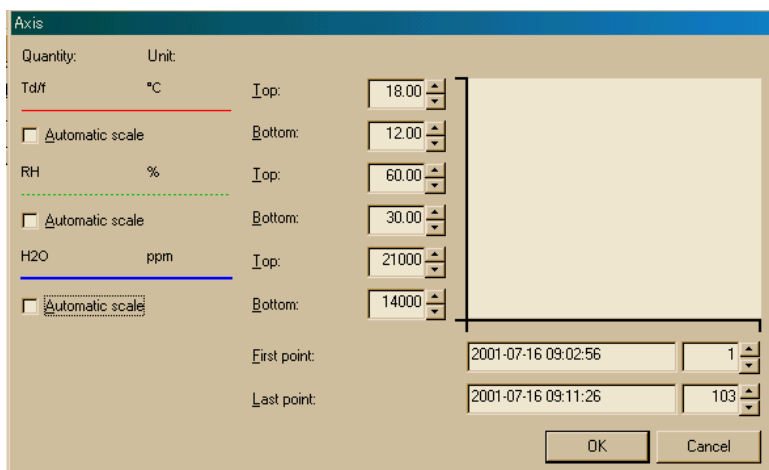
チャート　Chart

チャートページはダウンロード又はモニターしているデータを
グラフにて示す。ダウンロード又はモニター開始した後チャートページウインドウ
Chart をクリックすることで開くことが出来る。

データシート　Data table

データ表シートは個々のポイントのデータを表形式にて記載。
ダウンロード又はモニター開始した後データテーブルウインドウ
Data Table をクリックすることで開くことが出来る。

チャート Chart のスケーリング

Y 軸のスケーリング
チャートの Y 軸スケーリングの為にはチャートの下あたりをマウスで右クリックのこと。そして **Axis** を選択。又は **View**
メニューをオープンし **Axis** を選択の事。

X 軸のスケーリング
リアルタイムウインドウの中のある特定期間のデータを見たい場合は、**View** を開き **Axis** を選択しその中の設定で時間軸である X 軸のスケーリングを固定することが出来る。又 **Zoom In** を選択し、観察したい時間帯のチャートエリアに合わせこのズームをドラッグする事でもこれが可能。**View メニューの Show All** を選ぶと元に戻る。

印刷

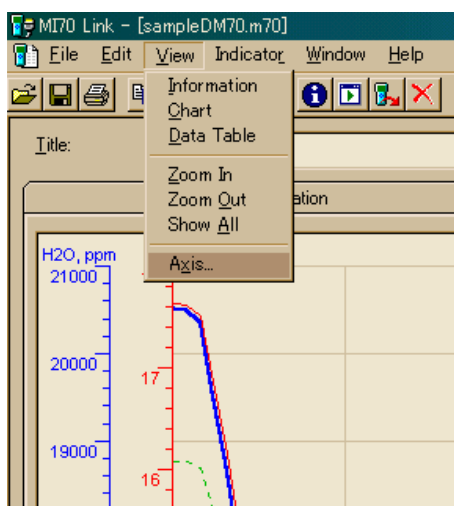
印刷を選択するには **Print** 又は印刷したいエリアで右マウスをクリックし **Print** を選択。又は **File** を開き　**Print** を選択

コピー

シートをコピーするには **Copy**　又は右マウスをクリックし **Copy** を選択。又は **Edit** を開き **Copy** を選択。データ表からあるデータポイントをコピーするには、コピー範囲をまず選択、そしてコピーをする。そしてコピーしたデータをコピーしたいファイルにペイストする。

チャートのズーム（拡張）

チャートのカーブを拡張（ズーム　イン）するには、**Zoom In**
とチャートを再びクリックする。**Zoom Out**とチャートを再びクリックすれば前の画面に戻る。**Show All**すればはじめの表示に戻る。 **Chart** エリアにて右クリックで **Zoom In, Zoom Out** 又は **Show All** を選択。
ズームオプションは **View** メニューでも選択できる。ズームウインドウのデータはデータ表のそのエリアがハイライトされ示される。

ヒント：もしリアルタイムウインドウである期間を観測したい場合 **View** メニュー**Axis** 選択により X 軸のスケーリングを固定する事が出来る。**Zoom In** 選択と欲する期間をマウスでドラッグすることによりその期間のデータが選択できる。又は **View** メニューの **Show All** で元の設定に戻る。

リアルタイムデータモニタリング（現在進行中デーの取込み）設定

Instrument メニューを開き、**Real Time Setting** を選択

モニタリングパラメーターの選択
リアルタイムウインドウで観測したいパラメーターを単位を選択

モニターインターバルの設定
モニターインターバルとして 1 秒から 12 時間からのインターバルから選択。インターバルを短くすると最大モニタリング時間が短くなる。下表を参照のこと。

最大モニタリング期間

リアルタイムウインドウはレコーダーとして使用できる。最大モニタリング期間は選ばれるモニタリングインターバルに依存する。下表を参照のこと

モニタリングインターバル	**最大モニタリング期間**
1 秒	18 時間
5 秒	90 時間＝3.7 日
15 秒	11 日
30 秒	22 日
1 分	45 日
5 分	225 日
15 分	677 日＝1.8 年
30 分	3 年以上
1 時間	3 年以上
3 時間	3 年以上
12 時間	3 年以上

ファイルを開く

OPEN をクリックし欲するファイルを選択する（ファイル

*.m70 フォーマット形式のファイルのみ開く事が出来る。）又は **File** メニューを開き **Open** をクリックする。

ヒント：ウインドウエクスプローラーから MI70　Link　ウインドウへファイルアイコンをドラッグすることによりファイルを開く。

ファイルを保存する

ファイルを保存するためには **SAVE** をクリックしファイルに名前をつけ次の 3 種類からタイプを選択する。

- *.m70　:　MI70 Link　プログラムのみで開くファイル
- *.CSV　:　コンマで区分される値のファイルはマイクロソフトエクセルで開き編集できる。
- *.txt　:テキストファイルはテキストプロセスプログラムで開くことが出来る

又はファイルを保存する別の方法として：**File** メニューで　**Save As** 又は **Save** する。

指示メモリーからファイルを消去する

ダウンロードファイルの消去を行うため、**Delete Files** をクリックし消去するファイルを選択。又は **Indicator**　メニューを開き　**Deleting Files**　をクリックする。

“**Download Files** “ウインドウで問い合わせが表示される
“**Delete downloaded file(s) from indicator** “をレ点することにより、ダウンロード後、指示計から自動的にファイルを消去する事ができる。